



旭陽中学

きょくようちゅうがく

旭陽中学の歴史

大阪市立旭陽中学校は昭和22年4月大阪市立旭第一中学校として高殿小学校分校に併設され、同24年5月旭陽中学校と改称された。その当時校舎は高殿小学校の一部併設と高殿商工実科女学校の校舎を使用することになった。仮校舎は雨の洩る、風が吹き抜

ける木造のバラック校舎で22年4月20日入学式後、二

教室で第一回の職員会が開かれ、その後

P T Aの総会も二教室の間の板や黒板

をはずし広くして開かれ、終了後又板

黒板をつけて二教室として授業出来る

ようにした。



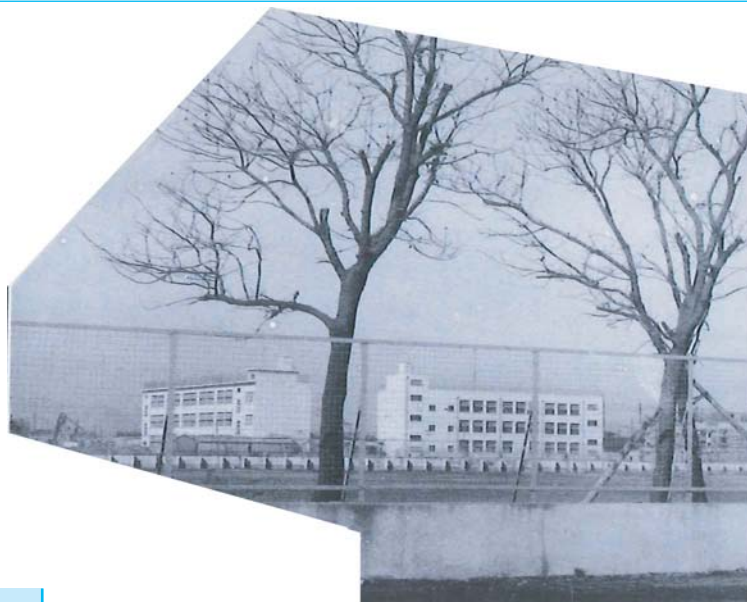
■校舎 木造バラック校舎(昭和22年4月頃)

生徒数は1320名、学級数26の当時新制中学でも屈指の大世帯であった。通学区校下は高殿・大宮・清水・古市小学校の卒業生を収容し、広大な範囲に渡っていたが、大宮中学、旭東中学の設立により、その後高殿・大宮校下の生徒を収容した。

昭和26年11月18日文部省指定のモデルスクール建築目標のもと現在地に新校舎起工式を挙行し、昭和27年10月18日落成式を行い、引っ越しをしたが、全生徒の収容力がないので1年生は分校舎、2,3年生のみが新校舎で授業が実施された。



■思い出の部屋



その後各関係者、P T A校下各位の絶大な援助支援により第2期・第3期工事を経て、昭和28年夏にはモデルスクールにふさわしい校舎が完成されるに至った。

〈島津尚文〉

■新しい校舎(昭和28年夏)



昭和5年に新装開店の飾り付けをした米穀店



■昭和5年撮影、新築商家、新装開店の飾り付けした米屋さん(写真:脇坂氏所蔵)

今市商店街が出来たころに建てられ店屋さん(大二階の家)のひとつ。米屋さんをするので1階の天井を高くとの注文したとの事。写真屋(写真館)さんが商店街の東側の井路川を越え更地から撮ったとの事。四軒長屋。(市電、都島から、昭和4年、今市まで。昭和6年、守口まで開通。)

〈上田勢至郎〉



■現在の米穀店